

# 平成 23 年度 放課後子ども教室運営委員会

## 会 議 録

日時 平成 24 年 2 月 7 日（火） 午前 10 時から

場所 清須市役所 清洲庁舎 202 会議室

清 須 市 教 育 委 員 会

## 会議出席者

氏名	職名	備考
齊藤 孝法	小学校長	新川小学校
杉村 照代	学識経験者	健康福祉部 子育て支援課主幹（保育長）
犬飼 宏実	保護者代表	2年生の保護者（西枇杷島）
上田 陽子	保護者代表	3年生の保護者（清洲）
神田 百合	保護者代表	2年生の保護者（新川）
高村 裕美	保護者代表	1年生の保護者（春日）
荻本 時男	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（西枇杷島）
鈴木 治	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（清洲）
柳町 和光	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（新川）
中田 繁美	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（春日）
内田 敏正	教育長	清須市教育委員会
浅田 克幸	学校教育課長	事務局
三輪 晃司	学校教育課副主幹	事務局
藤田 里恵	学校教育課主任主査	事務局

## はじめに

学校教育課長

それでは定刻となりましたので始めさせていただきます。本日は、お忙しい中、清須市放課後子ども教室運営委員会へ参加いただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

私、学校教育課長の浅田と申します。本日の司会進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。会議の前に皆様方の席上に放課後子ども教室運営委員会の委嘱状を机上へ配布をさせていただいております。本来ですとお一人お一人に交付をさせていただくのが本来ではございますが、時間の都合もございますので、机上に配布ということでご了承をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、内田教育長からご挨拶をさせていただきます。

## 教育長 あいさつ

内田教育長

おはようございます。日ごろは市の放課後子ども教室ということで、皆様方には、本当に一生懸命やっただいており、父兄からは喜びの声しか聞こえてきません。皆様が大変ご苦労していただいているという証拠であろうと感じております。それでも、いろいろな問題があるのではないかと感じております。ぜひ、今日はそのようなお話もしていただ

いて、今後の放課後子ども教室について考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## 議題

学校教育課長

それでは議題に入ります前に、皆様方のご紹介、職名・お名前について自己紹介の形をお願いしたいと思います。大変恐縮ですが、高村様から順にお願いします。

高村委員

春日小学校放課後子ども教室を利用させていただいております、1年生の保護者代表として来させていただきました高村裕美と申します。日ごろ、放課後子ども教室には、子どもが「今日も行く、今日も行く。」と言って楽しんで行かせていただいております。よろしく願いいたします。

神田委員

新川子ども教室保護者代表の神田百合です。うちの子も毎日楽しく行って、「今日はこれやった。あれやった。」とうれしい報告を聞いております。私の都合でいけないときなど「なんで。」という感じで、本当に楽しく行かせていただいております、感謝しております。よろしく願いいたします。

上田委員

清洲小学校放課後子ども教室を利用させていただいております3年生の保護者で上田陽子と申します。うちも去年2年生から参加させていただいておりますが、友達が少ないので放課後子ども教室のほうでも友達の輪が広がったら良いかなと思い利用させていただいております。とても楽しく遊んでおります。3年生で終わってしまうのが残念ですが、今日はいろいろお話を伺いたと思います。よろしく願いいたします。

犬飼委員

西枇杷島小学校の保護者代表の犬飼です。1年生から利用させていただいて宿題もしっかり見ていただいて、とても感謝しております。PTAのほうで研修会が午後からあつたりするときなど、下校に帰ってこられないときなど利用させていただいておりますが、お仕事されている方や学校のお仕事などで帰りまでに帰れないときなど利用が出来るということは、すごくありがたく思います。よろしく願いいたします。

杉村委員

清須市健康福祉部子育て支援課の杉村と申します。よろしく願いいたします。

齊藤委員

新川小学校の齊藤と申します。地区の校長会のまとめ役をやらせてい

ただいているので、この席にいるのではないかと考えております。新川小学校の施設内に放課後子ども教室があり、非常に一生懸命やっていたいており、安全性を確保しながら運営をしていただいておりますので、安心しております。

内田教育長

教育長の内田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

荻本委員

西枇杷島小学校の放課後子ども教室の荻本と申します。よろしくお願いいたします。今年で2年目となります。

鈴木委員

清洲小学校で放課後子ども教室を担当しております。鈴木です。私も今年で2年目をまもなく終える年となります。よろしくお願いいたします。

柳町委員

新川放課後子ども教室の柳町和光と申します。1年早く始めたので今年で3年目になります。保護者の皆様方や子どもたちの期待もありますので、そうしたことに添えるよう、また、安心・安全を常に合言葉にしながら努めております。よろしくお願いいたします。

中田委員

春日の放課後子ども教室の中田繁美と申します。私たちは今年4年目となりまして、もうすぐ5年目に入ろうとしています。みなさん良いことばかり言ってくださるのですが、子どもに聞くと「今日、行きたくなかったけど、お母さんが行きなさいと言ったから来たんだ。早く帰りたい。」という子もいますので、なかなか来たくなくても行かなければいけない事情のある子もいるなどと考えております。私たちも一生懸命いろいろ考えて取り組んでおりますので、よろしくお願いいたします。

学校教育課長

学校教育課長の浅田と申します。私も春日の出身でございます。今、中田さんがおっしゃった4年前、実は立ち上げのときに社会教育課長ということで携わってきた経緯もあります。どうぞよろしくお願いいたします。

副主幹

学校教育副主幹の三輪です。子ども教室全般的に担当をしております。よろしくお願いいたします。

主任主査

学校教育課の藤田と申します。よろしくお願いいたします。

学校教育課長

皆様ありがとうございました。突然の振りで大変恐縮でございました。それでは議題を進めさせていただきたいと思います。まず議題1の実施状況について、事務局からご説明させていただきます。

副主幹

まず、資料の確認をお願いいたします。まず次第、西枇杷島放課後子ども教室日より、清洲放課後子ども教室、グラフになっているものが新川子ども教室、放課後子ども教室通信は春日、以上でございますがよろしかったでしょうか。それでは、座って失礼いたします。現在、清須市では西枇杷島小学校区、清洲小学校区、新川小学校区、春日小学校区で小学校の施設をお借りして放課後子ども教室を実施しております。子どもの居場所づくりの一環として空き教室・会議室などを利用して、放課後子ども教室専用の教室とし、希望者の1年生から3年生までの児童が学習、軽スポーツ、伝統的な遊びなどを行っております。先ほどお話されましたが、春日放課後子ども教室では平成20年度から、新川子ども教室については平成21年度から、西枇および清洲の子ども教室については22年度から実施をしております。開設時間につきましては、4施設とも給食のある放課後の月曜日から金曜日の午後5時までで、土曜・日曜・夏休み・冬休み・春休みは開いておりません。午後5時には保護者、または保護者に代わる方にお迎えに来ていただいております。昨年度までのお迎えの時間につきましては午後4時半までとなっておりますが、昨年の運営委員会において30分延長することとなり、午後5時までとなりました。利用料は無料ですが、傷害保険料として500円ご負担をいただいております。運営については、指導員（コーディネーター）と補助員、週に1度はもう一人補助員を増やして計4名で運営しております。募集人員につきましては、現在、西枇放課後子ども教室以外は定員を設けず実施しております。以上でございます。

学校教育課長

それでは事務局からは事務的な報告をさせていただきました。皆様方既にご存知でございますが、市内には8つの小学校があるわけですが、地区ごとで小学校において放課後子ども教室を実施している状況でございます。先ほど自己紹介ございましたが、それぞれの放課後教室のご報告をたまわりたいと思いますので、よろしく願いいたします。  
ではまず、西枇の放課後子ども教室の荻本先生からお願いします。

荻本委員

それではお願いします。資料でご説明させていただきます、後から3枚目、現在、西枇杷島の放課後子ども教室では、1つしか教室が使えな

いので、80名ということで募集をさせていただきました。100名以上応募がありましたので、抽選をさせていただきました。兄弟の関係もありまして、兄弟で参加する子どもを合わせると最終的には89名の参加者数ということでございます。1日平均20名前後の参加者となっております。1学期懇談会の日は多く40名ほどの参加者がありまして、教室のロッカー机など大混雑している状況でありましたので、やはり、募集についても来年度も今年度同様80名をお願いできればと思っております。また、登録はしたが参加していない方もみえまして、そういったことが保護者の方に伝わりまして少し不満も出ている、なんとかならないかご意見もいただいております。教室の関係等もありますので難しく思っております。毎日の活動状況につきましては、2枚目を見ていただきますと日々宿題等を済ませ、その後自由に遊ばせたり、物作りをさせたりという活動をしております。また、定期的にイベントを行うということで、北名古屋市のレクリエーション協会の方をお願いをし、マジックショーやバルーンアートなどを実施したりしております。また、地域の方にしめ縄作りをしていただいたり、読み聞かせのボランティアの方で2月・3月に予定をしております。子どもたちはいろいろな物を作ることに興味があるようなので、スタッフで考えてやっております。物があまりありませんので、リサイクルなど考えてやっております。今まで怪我等なく安全に実施をすることができ安心しておりますが、やはり安全が一番ですので、よろしく願いいたします。

学校教育課長

それでは引き続きまして、清洲放課後子ども教室の鈴木先生、お願いいたします。

鈴木委員

資料で簡単に説明をさせていただきます。登録者数は、清洲小学校は母体が大きいものですから、結構たくさんの方に登録いただきまして、合計170名。清洲小学校低学年の女の子が非常に多く、男の子は少ない。1年生は64名、2年生は64名、3年生42名です。めあては「きまりを守りましょう」「なかよく遊びましょう」「進んで学習しましょう」、日課については、概ね3時ごろからでございます。2時間勉強をしたり、遊んだりします。基本的には30分間勉強し、後は遊ぶということでございます。外遊びは人気がありますので少し増やしております。これは天気の良い日に実施、体育館遊びは、一番人気があるのですが木曜日一斉下校後体育館を毎週使わせていただいております。あと物づくりということで、変化をもたせるということで定期的に月に何回かスタッフが

考えたものを実施しております。セミグライダーやトリヨーヨーなど、考えるのは大変ですが、スタッフ3名の方が順番に考えて実施しております。金曜日は読み聞かせを月に1回実施、時にはせっかく異学年が集まりますので集団遊び等を変化をもたせながら実施しております。次ページですが、参加状況ですが2月までの実際に来た人数をグラフにしております。西枇と同じで7月・12月の懇談会は極めてたくさんのお子さんが来ていただいております。一番多かったのは、7月の懇談会で100名、その前後合わせて80名ほどみえました。12月の懇談会もやはり80名以上みえました。クリスマス会は90名ほど。あとは学校のイベントがあるときに若干増えるかなということで、70名近い日が何日かあります。平均は48名ということで、1年生が19名、2年生が17名、3年生が12名ということで、見ていますと3学期にはいると少し減ってくるかなという感じです。1学期・2学期は陽が沈むのが早くなると減ってくる。冬場、インフルエンザ等で若干減ってくることがあるということです。100名で大丈夫かという話がありますが、幸いに比較的部屋が広く、ただしこの教室は最大限60名か70名しか入れませんが、隣に会議室がございまして、多いときには利用をさせていただいて、そこでも勉強をさせていただいております。何とかクリアできるのではないかと考えております。これが毎日では大変ですが、50・60名であれば大丈夫なのかなと思います。少ないより多い方がにぎやかでいいのではないかと考えております。3枚目以降はアンケートの結果でございます。昨年と同様アンケートを1月に実施しまして、子どもたちや親御さんの要望を知っておく必要があるだろうということで実施しました。概ね好評なのかなということですが、やはり、春日さんが言われたように行きたがらない子ども若干いるのかなと。話を聞きますと子ども教室に来ても友達がいないということが大きな理由であり、自分が行きたいけれども一緒に遊ぶ子がいないからいやなのかなというところがあるようで、なかなか解消することが難しい問題であります。保護者の方には概ね好評ですが、なかにはいろいろ不満を持ってみえたり、要求等もございまして。ご意見・ご要望ということで載せてありますが、先ほど上田委員が3年生のお子さんをお持ちということで来年は子ども教室に行けないということですが、多い要望としては4年生になっても引き続き受け入れをしてほしい、あるいは、始業式・終業式の後も受け入れをしてほしい、あるいは、1年生については5月からではなく給食が始まったあと開設してほしいなどの意見がございまして。私、個人的には始業式・終業式のあとは難しいと思いますが、1年生をもう少し早くしたり、あるいは

は4年生も受け入れてあげればいいのかとは個人的には思います。

学校教育課長

ありがとうございました。それでは新川放課後子ども教室の柳町先生、お願いします。

柳町委員

どうぞよろしく申し上げます。私を含め、日ごろは3人のスタッフで金曜日のみ4人体制を組んでいただいております。学年ごとの一日後との出席です。先ほどの話ですが7月と12月の懇談会時は非常に多いという状況であります。懇談会時などは1時・2時に子どもたちが来るのですが、私たちもせっかく長い時間子どもたちがいますので何か物づくりなど腰を入れてやってあげたい、ということも相まってたくさん来るのではないかと考えております。全体としては2年生が一番多く、1年生は5月の連休明けから来ておりますので、ラインが膨れております。1日平均30名近くですが、新川小学校の規模が1年生が81名に対し登録が43名、約半分ぐらいの登録、2年生が76名のうち39名ということで、やはり半分ぐらい、3年生が42パーセントです。約半数近くの児童が在籍に対し登録をしており、登録に対しての参加率は平均約30名前後ですので、25パーセントの登録全体に対する参加となっており、約4分の1の参加ということですが、毎日参加する子、入れ替わりで参加する子、あるいは曜日で参加する子など入れ代わりがありますので、子どもたちの数で言いますと70から75パーセントの児童が何らかの形で、子ども教室を利用している。一日の数の平均で言いますと25パーセントですが、75パーセントぐらいは何らかの形で参加しており、数字から言いますと子ども教室の存在価値・重要度があるのではないかと、これからも子どもたちのために頑張ってもらわなければならないのかなと考えております。ただ、西枇の荻本先生もおっしゃっていらっしゃいましたが、登録はしたが来ていない子は20から30人ぐらいもいます。1学期に1・2回の子も中にはおります。その子たちに聞いてみますと来ても多種多様な子どもたちの要望にこたえてあげることができませんので、そういったことで子どもたちの気持ちが有り余って、放課後子ども教室ではやりきれないということもあって来ない子もいます。来る子は毎日来ます。何が何でも来るということをする限りたくさん子どもたちに満足してもらえようことを工夫をしながらやっていくことが必要であると考えております。10月の児童引渡し訓練でお母さんと一緒に帰る日も3人来ました。2枚目ですが、各月ごとのイベントなどをお示ししようと思ってお出ししました。最初の2月今月の

分ですが、前月の終わりにこの紙をお渡しし、「今月はこんなことがありますよ。」などとお知らせをし、次回来たときに提出用を出していただき、自分用をご自宅に保管しております。4月ですとオリエンテーションや新1年生歓迎会の準備、5月は、歓迎会・オリエンテーションなど。紙芝居など地域のみなさんにやっていただいております。6月は、チーム対抗ゲーム大会、一日の開催ですと来る子、来ない子がいますので何かをやるときには3日、4日続けてやっております。22日マジックショーを開催。7月は知人に頼みフルーツ演奏、6日・7日・8日は夏祭りのイベントや懇談会後は映画会、DVDを借りてきまして鑑賞をします。家でも見ますが、みんなで一緒に見るところに楽しさがある。9月は、共同制作をし、教室の後ろに飾ってあります。また、保護者がサックス・キーボード演奏をして演奏会をする。生の演奏を間近で見、大変喜んでおります。10月は私の夢だったのですが、将棋講座をお願いし水曜日と金曜日6回に渡り、社会福祉協議にご紹介をいただき清須将棋クラブ会長が教えに来ていただきまして、次の月には、それを基にみんなで将棋大会を実施し、大変よかったなと思っております。今後は囲碁を教えていただきたいと思いますと思っております。11月は、お話タペストリーはスタッフが頑張っけてやっております。手作りゲーム大会などを実施し、子どもたちに飽きさせないように楽しいことができよう。12月にはクリスマスリース・手編みのストラップ、神田さんが講師をしていただき材料など自前で、ボランティアで持ってきていただいて子どもたちに作り方を伝授していただき、子どもたちは大変喜びまして、大変ありがたいと思っております。1月は、羽根つき、琴の演奏、清須市の道原さんをお願いし2面の琴で演奏をしていただきました。マンネリ化しないように、子どもたちにより楽しい教室となるように、また、異学年交流もとても良いことですので、友達の輪がなお広がっていくように。また、地域の方との交流や触れ合い、珍しい体験をさせてあげられないかと思いがながらやれることに限りはありますが、スタッフと協力をして実施しております。次のページですが、6月8日、歓迎会時、子どもたちがメッセージを書いてラミネートで栞にし、1年生の友達に「楽しいよ。また、いらっしやいね。」と作ってくれました。右側は、フリータイムの様子。最初時間帯は静かタイムで学習・先生との語らい、その下は異学年で共通の遊びをできるときには実施し、最終的にはフリータイムということで実施しております。裏面には紙芝居をやっていただいた様子で、外部の方にやっていただくと子どもたちはいい緊張感があり、これからもやってあげたいと思っております。2枚目ですが将棋講座の写真で、この将

棋も結構難しいのですが、最近は簡単な動物将棋があることを知りまして、1年生の女の子でも取り組みやすく子どもたちの間ではゲームばかりが流行っておりますが、契機付けをしてあげられたらと思っております。最後に資料にはございませんが、予算の執行状況ですが毎年18万円ほどいただいております。おもちゃ・竹馬・ラミネーター・将棋やオセロ、あとは本などを購入させていただいております。今後も子どもたちが好きそうな図鑑などの購入を考えております。あとは、イベント時の材料が必要ですので、そういったものの購入に使わせていただいております。1年間で予算を見合うように使わせていただいております。学校側との連携など木曜日は体育館を使用させていただいております、協力をしていただいております。我々も学校に迷惑をかけないように、高学年はまだ授業をしておりますので、うるさくならないように迷惑にならないように、常に教頭先生にお願いをしたり、依頼をしたり連携を保ちながら実施をしております。教育委員会からはいろいろバックアップをしていただいております。これからも、よろしく願いいたします。

学校教育課長

ありがとうございました。続きまして、春日の中田コーディネーター、よろしく願いいたします。

中田委員

よろしく願いいたします。3教室とほぼ同じような内容でございますが、春日は今年、抽選をしないで受入れをしました。前年度まで2年生30人、3年生30人、1年生40人の100名という定員でしたが106名の応募があり、6名の子を落とすのかということで、前回の委員会時に諮っていただき春日は抽選をしなくても良いということになり、今年は抽選をせず117名を受け入れることができました。ところが、117名を受け入れるとなると教室は狭い、スタッフは3人しかいないということで、たくさん来たときにすごく大変で教室が息苦しく空気が悪いということもありますので、スタッフで相談をし、抽選が必要なのではないかといろいろ模索をしております。そういうことがあり、お母さん方が夏休み後半、2学期後半になりますと「先生、来年は抽選はあるんですか。」という話題になり、「早く決めてもらわないと児童館に入る手続きをしないといけない。」と言われております。早めにいろいろなことが分かると保護者の方は、児童館に入れるか、放課後に入れるか、あるいは自宅でみるかなど考えることができるので、なるべく早めに情報を出すようにしてほしいと思います。私たちが良かれと思ってしたことが、結局は自分たちの首を絞めるということもあるので、軽々し

くいろいろなことを決めていくことは難しいことだと思いました。民主主義というのは困ったもので、いろいろなことを会議で決めていく、それにはとても時間がかかり、一つ一つ会議にかけて、時間がかかるというのが民主主義の欠点だと思いますが、これは仕方のないことなので、やはり会議を重ね慎重に決めていかなければいけないことだと思っております。例えば、スタッフで考えたということと保護者の方からの要望もあり、就学時健診のときに児童館放課後の説明、募集の仕方、システムの説明をしていただくとありがたいと思います。また、そのときに保護者は児童館を利用したい、家でみるというアンケートをとるとおおよそ人数の把握ができるので、考えやすいのではないかと意見がありましたので、よろしく願いいたします。私たちが月1回イベントを行っておりますので、新川の参加予定表は非常にいいなと思いました。私たちはイベントは事前告知を1ヶ月前ほどからカレンダーに書き込み、壁に貼り周知をしており、それを見て子どもたちは、「この日は来よう。」とか「この日は何もないから来なくていい。」など、子どもたち・保護者が判断し出席をしてもらっています。イベントも今年は踊りの先生に来ていただき日本舞踊は難しいので盆踊りの指導、それに伴い先生に無理なことをお願いして「マルモリ」の踊りを教えていただいたり、ピンボールは清須体育指導委員の方に大玉ころがしのようなものを実施し、今後試合ができるようにということでしたが、なかなか難しく試合は難しいのではと思っております。このスポーツは、子どもたちも大好きで、運動量も多く、全身を使ってボールを受け止めるので、なかなかおもしろかったもので、これから少しずつ自分たちで道具を借りて指導員が教えて実施をしていくこともいいなと思っております。3月には朗読を実施したいと思っております。月1回のイベントについては、ここにも少し書きましたが、ビーズ人形などいろいろな材料にお金をかけて実施しておりますが、この中でも子どもたちは「やりたくない。」という子もいますので、とりあえずイベントは全員参加ですが、やりたくない子はやらなくてもいいとさせております。ただし、運動場には出ず、静かにして過ごすこととしております。子どもたちは、何が一番楽しいかと言いますとフリーで、見ておりますとままごとをやったり、すごく楽しそうに子供同士で遊びを考えて遊んでおり、自然に家にいるようにするのもいいことであると指導員と話をしております。他の方も言っておられたようなことを私たちが実施しております。今後も子どもたちのためになるよう考えてやっていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

学校教育課長

はい、それぞれ4地区の運営についてご報告をいただきました。せっかく本日も各保護者の代表の方がおみえでございますので、日ごろのご質問・ご意見があればいただきたいと思いますので、大変恐縮ですが、西枇の犬飼様からよろしく願いいたします。

犬飼委員

昨年度、初めてやったときには定員オーバーすることなく全員参加することができたのですが、1年目のときにとっても評判がよくていろいろなイベント、クリスマス会などをやっていただきまして、評判が評判を呼んだのか今年度定員をオーバーしてしまい抽選になりましたが、抽選で漏れてしまった子がちょっと悲しい思いをしたりとか、友達みんな放課後子ども教室には入れたのですが、一人だけ入れなくて家で泣いたりなど、そんな話も聞いていて、本当に利用したい子が、お仕事はしていないけれども何かって時に見ていただく場所がほしくて、児童館だとお仕事をしていないとは入れないので、すごくいい場所だったのですが抽選に漏れてしまい預かってほしいときに利用できないという声をすごく聞きました。なので、スペースに限りがあるので、なんとも言えませんが、そういう悲しい思いをしてしまう子が出てきてしまうと友達同士なのでなんとかならないかなと思っています。

学校教育課長

はい、ありがとうございます。続きまして、上田様、よろしく願いします。

清洲保護者

私は、清洲でもいい意見を聞きますが、悪い意見はほとんどありませんが、やはり、他の小学校でも同じですが登録者に対しての参加人数がすごく少ないということがあり、登録をしているだけで、西枇以外は抽選ではないのでそれでもいいのかなと思います。清洲も抽選になるとするならそういうのはどうかなと思います。何かあったときとと思って登録をしている親御さんが何人かみえると思うので、そういうのは1年で統計を取って、そういう子には文書等でサジェストしてもいいのではないかなと思います。例えば、懇談会時の2日間のためだけに登録をするという意識はどうなのかなと思いました。清洲は少しイベントが少ないのかなと思いました。子どもたちは物づくりとか、今日はこれをやるよというのはすごく好きだとおもうので、フリーもすごく大事だとは思いますが、今日は親に来させられたというお子さんと友達が集りにいない子は、イベントがあると居場所があり、楽しい気持ちにもなれるのではないかなと思うので、清洲もそういったイベントが増えるといいので

はないかと思います。個人的に気にはなっていたのですが、他の子ども教室さんは備品と言いますか遊び道具はどういった物を揃えていらっしゃるかが気になって、清洲はこちらの資料の後2・3ページが保護者のアンケートになっており、ここにも書いてありますが、DSとかゲーム機が置いてあり、いつから置いてあるのかは覚えていませんが、去年はなかったと思いますので、多分今年ぐらいからゲーム機やパソコンが置いてあり、なぜDSが置いてあるのか。保護者の中のアンケートにもありますが、DSは反対ということですし、私も個人的にゲームはやらせたくないのも、もしかして他の子ども教室にも置いてあるから清洲にも置くようにしたというわけではないのでしょうか。他の子ども教室の備品を教えてください。去年は、オセロや将棋、ドミノや人生ゲームなどがありました。それぐらいならいいのかと思いますが、家なら一人で遊ぶには楽しくないし、昔ながらの遊びで頭も使うと思いますが、画面を見るのはどうなのかな、私的にはゲームは外してほしい。やっている子を見るのも気分が悪いので、折り紙などをしている子どものほうがいいのかなと思います。あと、よく聞くのは春休み・夏休みなども開設してほしいということですが、難しいのかなと思いますが、1学期・2学期は子ども教室で、夏休み・冬休みは児童館に入れている親御さんもみえるので、1年を通して放課後子ども教室を利用できると助かると言ってみえる親御さんもみえます。休み中も午前中だけとか開設していただけると利用しやすいと思います。

学校教育課長

はい、ありがとうございました。今の上田様のご質問の備品についてお願いいたします。

鈴木委員

DSに限らず、結構個人的な物を持ち込んでおり、予算のこともあり印刷機一つとっても不自由な面があったりということで、DSも私個人の物で、子どもたちには脳トレと辞書の代わりに置いてあり、辞書の代わりに良く使っていましたが、あるとき男の子が家のDSができないから1枚だけ持ってきてやってもいいですかということで認めました。それをやっている子は確かにいますが、おそらく帰り際にお母さん方が見られて困ってやっていると光景としてはよろしくない光景に見えるかもしれませんが、私としてはコンピューターもそうですがそういった遊びも必要であろうということも思っております。朝から晩までゲームばかりやっていることは問題ですが、だいたい一人5分間というルールの下で子どもたちは使用しております。親の教育方針としてそういったもの

は与えていないので、子ども教室でも与えないでほしいという意見が聞こえてきましたので、今後は考えようかなと思っております。ゲームソフトは本人に返そうかなと思っております。

学校教育課長

他の子ども教室ではどうでしょうか。

柳町委員

新川の様子ですが、鈴木先生のほうからDS、電子機器に関する考え方はそれはそれでいいと思います。新川では、DS関係はありません。時々子どもたちから声が出たりしますが、それは自宅でやる。遊びだと個人または2人ぐらいまでのことになってしまいます。そういう意味では、せつかく子ども教室に来て異学年がおりますので、そういったことを活用したほうがいいのではということで、野球版・人生ゲーム・竹馬・将棋・オセロ版・チェス・トランプ・ルービックキューブ・縄跳び・大縄・けん玉・こまなどをして遊んでおります。工作用の本をいくつか用意しております。みんなで顔を突き合わせて楽しんでやれることをベースにおいて、状況をみながら予算の範囲内でやっております。

荻本委員

西枇につきましては、新川を参考にしております。お便りで保護者をお願いをして遊び道具・ゲームがありましたらお願いをしていただいております。DS関係のものはありません。

中田委員

春日につきましては、いろいろなおもちゃを買ったのですが、すぐに壊れてしまいます。UNOなども購入しましたが、すぐに壊れたり、私たちが買った人生ゲームなどを持ってきても、すぐに箱がぐしゃぐしゃになってしまうなどでよくない。買った最初は楽しめますがすぐに飽きますので、牛乳パックや段ボール、空箱を家から持ってきますとそこからいろいろな遊びが生まれて、子どもたちは自分たちで作る遊びのほうが楽しそうで、長く続くので、そちらの方がいいのではないかと思っております。ゲームは少しあります。かるたは結構やっております。私たちが今大判のかるたをやろうということで、指導員がかるたの作成をしており、来年に間に合えばいいねということで楽しみにしております。そのときに使う厚紙などを購入したり、スポーツ用具、ドッジボール・サッカーボール・風船・バドミントンセット・縄跳び・大縄などを購入しました。大縄は非常に良く遊びますが、なかなか上手にまわせないので指導員がまわしております。本も購入します。図書館めぐりをして1回10冊ぐらい借りております。

学校教育課長

はい、ありがとうございました。各地区の備品の状況でございますが、DSにつきましては、鈴木先生の私物ということで脳トレ・辞書ということで、子どものためにということですが、また、使用の仕方については鈴木先生のほうでもう一度お考えいただけるということですので、そういった形でご理解をいただきたいと思います。各施設それぞれ備品も限られた予算の中で子どもたちのためにということでも有効にご活用をいただいているのかなと事務局としては思っておりますので、また、ご意見等がございましたらお聞かせいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。続きまして、神田様よろしくお願いいたします。

新川保護者

いろいろな学校の意見等参考になりますが、新川地区に関しては、人数に関しても恵まれており、子どもが1年生に入ったときには枠があったのですが、今年から人数の枠がなくなりまして加入する時期も去年は4月の段階での募集で締切という形でしたが、今年は途中からの参加もOKということで、人数に関しても抽選とかを聞きまして驚いておりますが、そういう面でも恵まれているなと思いましたが。保護者としてみていて、特に大きな問題が見つからない感じで、とても充実していて、備品に関してもこんなものまであるのという感じで、とても充実をしていると思います。子どもも家にないもので遊びできるようになったということで楽しく過ごしています。去年は、少し思っていたのは、外に出る機会が少ないと思っておりましたが、大人数を見てくださる先生方の人数にも限りがありますし、校庭や体育館が使える日も決まっているので仕方ないと思っておりましたが、今年に関しては、寒い中積極的に校庭が使えるときなど外で遊んでいる姿を見て、そういったときは子どももとても生き生きしてありがたいと思っております。それについても子どもが先生に意見をするんだと思いますが、気がつくとも竹馬が増えていたり、フラフープなどやる人数が増えてくれば先生が買ってくれるということで、いいように予算を使っただいてありがたく思っています。

学校教育課長

はい。ありがとうございました。続きまして、高村様よろしくお願いいたします。

春日保護者

先ほど、来年度は抽選になるかもという話でしたが、春日も今年度は抽選なしでやっていただいて、その前の年は抽選があったということ

上に子どもがいる関係で他のお母さんから聞いておりますが、抽選となりますと子どもが行きたくても行けなかったり、春日の場合は近所にある公園が小さかったりしてボール遊びもできないので、男の子はドッジボールやサッカーなどのボール遊びが好きなので、家に帰って外で友達とボール遊びができたということがあるのかと思いますが、そういった場所がないこともあるので、抽選で漏れて入れず、家で近所に同じ年の子もいず、一人でぼつんと独りになるとテレビゲーム、DSやWiiなどばかりで遊ぶことになりまして親として嫌だな、子どもも毎日そうだと嫌だろうと思うので、できれば抽選をなく入れていただけると助かります。うちの子は頻繁に利用をさせていただいておりますが、確かに1年生のお子さんなど、最初はどんなものかも分からないので、とりあえず登録はし、1回は行って見たが行きたがらない子達もいて、最初の1回2回使っただけであとは行かないという子もいるということは聞いておりますので、そういったことも含めると抽選で入ったが、実際には年に1、2回しか使わないという子が抽選では入れて、本当は毎日でも行きたい子が漏れてしまうということは、どうなのかなと思います。春日は、私がお迎えに行きますと女の子は物づくりを先生に教わりながらやっている姿を良く見かけます。男の子は割りと外でドッジボールをやったり、何人かで外で遊んでいる姿を見かけます。学校生活とか家だけですと友達にならないような異学年の遠い地区のお友達なども仲良くなったり、そういう場があることもすごくいいことだと思います。友達がいらないから行かないという子もいるかもしれませんが、先生方も大変かもしれませんが、お楽しみ会などをやっていただいたとき、物づくりをするときなど好きな子同士固まってするのはなく、1年生と2年生と3年生と振り分けていただくような形で、一つのテーブルにいろいろな学年を配置していただくと交流が深まり、普段話をしない違う学年の子などが仲良くなり友達ができるということもあるので、そういった場を設けていただくとより友達の輪が広がっていいのではと思います。子どもは室内で遊んでいるとき、ブロックなど置いていただいているので、そういったもので遊んでいるのをよく見かけ、子供同士で作るだけでなく作って自分たちの世界で広げて遊んでいる姿を見かけるので、子供同士でやっていることを先生が温かく見ていただき、そういったことを先生方から帰りに教えていただけるので、保護者としては自分の見ていない子どもの姿が知ることができるので、今後も温かく見守っていただきたいと思います。

柳町委員

先ほどの抽選のことですが、今年は新川・清洲は抽選を外していただき、西枇杷はキャパのことであろうと思いますが、現在、抽選なしで119名、当初は112名で出発をしました。どういったことになるだろう、小さな普通教室が2つあり、もし、たくさんの子が来たらと頭を抱えていましたが、実際に来るのは平均30名ぐらい、多いときで70名来ましたが、それはそれで、構えて対応をするので、今日、何人ぐらい来るのかは分かりますので、日ごろは人数的には25パーセントの30人前後ですので、本当に入りたくて漏れ、その一方で最初の2・3回来たが後は全然来ないといった子もいますので、漏れた子や保護者のことを思いますと40名を恒常的に超えますと私たちも大変です。30名前後でしたら落ち着いて出来る。また、人数の多いときには、たまにしかないのです、それ様に対応をしますので、もう少し譲って安全の範囲内でいけるのかなと思っております。また、もう一つ、上限がないので後からも入れる。あとから来たいという子も受け入れてあげられる。そういう良さはあります。2・3回しか来ない子にはサジェスションをするようなシステムがあってもいいのかなと思います。

学校教育課長

はい。ありがとうございます。今、4地区の保護者の代表からいろいろ意見を頂戴したわけですが、今、柳町先生もおっしゃたように、この抽選という部分が課題となっているようであります。事務局の方も来年度に向けどうするべきかということは相談をしている最中であります。今日の皆様方のご意見を賜りまして、また、各地区の先生方と相談をさせていただきながら最終的には決定をしていきたい。キャパシティの問題＝安全の問題になってまいりますので、私どもも十分配慮をしていきたい。考慮の中に含んでいきたいというところはあります。とにかく事故のないように安全な放課後子ども教室の運営というところは、どうしてももっていかなければならないと思っております。そういった上で各地区の先生方とそれぞれ部屋の大きさ、差がございますので、各地区の先生方と相談をさせていただいて、今、非常に問題となっております抽選、23年度は西枇杷地区のみ行ったということでございます。また、他の地区でも抽選があるということでご心配もございますので、そのご意見をいただきましたので、それを踏まえて先生方と相談をさせていただいて24年度に向け考えていきたと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思います。

次に、保育長の杉村先生、児童館の様子についてお話を願いたします。

保育長

児童館ですが、平常のときは放課後子ども教室の活躍で子どもが分散をしておりますが、実際に夏休み・春休み・冬休みになりますとそのときだけ児童館を利用したいという人で清洲児童館は山盛りになっている状況と聞いております。日ごろは学童保育を利用される方と子ども教室を利用される方、目的が違いますので、子どもたちの安心と安全をお互いに守っている、確保しているのですが、今、一番児童館が悩んでいるのは夏休み・冬休み・春休み、長期間お休みが続いたときに児童館のほうで子どもたちの安全をどう守って、お母さん方にも安心して預けられる場所を提供できるかということで館長たちも頭を悩ませているという現状ですが、平常時は安心して預けていただけるのではないかと考えております。

学校教育課長

はい。ありがとうございます。保育長からもお話がありましたように長期休暇の放課後子ども教室の開設、児童館との関係ということもあります。これにつきましても課題として子育て支援課とも相談をさせていただきたいと思います。

それでは、学校との連携について、新川の齊藤先生にお話をいただきたいと思います。

齊藤校長

うちの場合は、新川の柳町先生ということで学校施設を使うときに学校の空いているときを利用していただいております。ですから、子どもたちがいろいろなことで重なるということは基本的にはございません。いろいろな形の中で、子どもたちは下校時など喜んで放課後子ども教室へ行く子、児童館へ行く子、種別もきちんとできておりますし、子供たち自身も分かっていますので特に問題はございません。私たちが少し気になるときには、例えば新川小学校は駐車場が狭く出入口が駐車場側にありますので、そこに子どもたちが移動・下校しますと危ないので、職員にも注意はしておりますが、出入りに関しては不規則ですので、少し気をつけていきたいということがあります。あと、学校が使っていないものはご要望があればいつでも、例えば木曜日だけではなく体育館が空いている状況であれば申し出があれば使っていただく、いつでも開放は出来るということで、特別、そういったことで学校が困るようなことは、施設が壊されるというようなことはございませんし、施錠関係で困るといようなこともございませんので、うまく連携が取れているのではないかと考えています。

学校教育課長

ありがとうございました。学校との連携も先生方のおかげでスムーズにしているという現状を承りましたので、今、校長先生のお話にもありましたように施設の空いているときには学校との調整のうで、ご要望にもありましたように外遊びなど子どもたちも楽しみにしているということでございますので、また、大変だとは存じますが先生方も施設を有効に活用いただき、放課後子ども教室の子どもが楽しめるような方向でお願いをいたします。

それでは、時間の方もずいぶん経過してまいりましたので、まず最初の実施状況については締めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは議題の2番目の平成24年度放課後子ども教室についてということで、事務局から説明をさせていただきます。

副主幹

平成24年度でございますが、今年度同様5時のお迎え、また、職員の配置も今年どおりということで、財政から予算をいただいておりますので、この体制で進めていきますのでよろしく願いいたします。1年生につきましては、ゴールデンウィーク明けからの実施ということで、通学路の点検等のため、また、災害等、避難勧告などがありますとコーディネーターさんと連絡の取れないこともございますので、やはり帰る道等をしっかり確認をするという意味でも1年生4月は下校で帰っていただいて5月からということでお願いをしたと思います。2・3年生については始業式の翌日からということ、また、3月中旬までには募集のお知らせをしたいと思っております。1年生については入学式以降に保護者へご連絡をしたいと思っております。定員については、先生方と協議し、決めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

学校教育課長

24年度ということで、新1年生については先ほどご要望がございましたが、今、副主幹が申しましたように4月から入学をされ、登下校の通学路等、安全な通学方法等、慣れていただいてから放課後子ども教室への参加ということ事務局としては考えておりますので、24年度につきましても、そういった方向で進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

今の24年度のことについて、何かございますでしょうか。

内田教育長

先ほど夏休みもというお話もありましたが、この放課後子ども教室につきましては、長期休暇中やらないということ、それから1年生から3年生の子が高学年と同じぐらいまではということです。夏休み等については、考えておりません。これは、他の小学校区からもぜひ開設をというお話もありますが、これもなかなか会場等のことでうまくいっておりません。今、話をしましたように従来どおり4地区で続けて開設をする。それから、今年、台風15号のときにあぁいったこともありましたので、災害時、天災時には開設をしないということで、よろしくご協力をお願いしたいと思います。どちらにしましてもいろいろな問題がありますが、それぞれ担当のほうでいろいろ一生懸命考えてやっておりますので、登録、抽選の問題ですが、来年度1年生がどれぐらい応募をしてくるかにより、もしかしたら安全面から考えると抽選せざるを得ないかなと、ただ、先ほども登録をしてもほとんど参加しないということもありますので、そういったこともどうしたらいいのかということをお今後の課題として考えていきたいと思っております。どちらにしましても、来年度も今年度と同様にそれぞれ頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

学校教育課長

他にはございませんか。  
それでは、議題2番の24年度については以上で締めさせていただきます。3番目にその他ということで予定をさせていただきます。今までのことも含め、その他で何かご意見等ございましたらお聞かせいただきたいと思います。

鈴木委員

先ほど聞いておりますと清洲の場合、保護者の要望の中に長期休暇中に開設してほしいという要望がありますが、趣旨から言いまして、放課後子ども教室ですので無理なんですよね。児童館に流れる。しかし、児童館のキャパシティの問題ということであれば休業中に、うちの場合立派な部屋がありますので、そういった方向にもっていけばある程度受け入れができるのでは、あとはスタッフの問題があると思っておりますが、使っていただくということで、それを進めていけばある程度解決できるのではないかなと思っております。

内田教育長

これは、小学校の教室の方も使っていますよね。

鈴木委員

JRC教室を使っております。そこも一杯なんです。

内田教育長	そこから、またあちらともなればひとがいない。
鈴木委員	スタッフの問題ですよね。逆にJRC教室が狭いので、休み中はそちらを使っていただいた方がいいのかなと思います。
内田教育長	可能な施設と可能ではない施設がありますので、そこらへんがどうだろうと思いますが、一度考えてみます。 どこの記録を見ても懇談会時にかなり多くの子どもたちが来ておりますが、西枇は抽選をしています、懇談会時を除けば余裕はありますか。
荻本委員	はい、大丈夫です。
内田教育長	懇談会だけ中止をしたらどうなるか。
保護者	困ります。
内田教育長	そうしますと懇談会のためだけに登録はダメと言うことはいえませんが、懇談会のためだけに登録をされる方がいてもこちらは何もいえないので抽選ということになります。
犬飼委員	懇談会のときではなくても、一度も参加をされてみえない方もみえますので、私の知り合いでもとりあえず保険の様な感じで登録をしている方もみえます。
内田教育長	それは、ダメですよとは言えないので、懇談会のために登録をしたいんではと言われないので、そんな登録の仕方はないので、そうなふうに登録に見える方はみえないので、こちらでほとんど参加されないのがダメということはこちらからは言えませんので、登録で希望をされた方はみんな受けて、安全面からダメだから抽選という形になる可能性はあります。非常に難しいと思っております。
鈴木委員	この趣旨は、親の立場から考えれば、今の話で年に数回、何かあったときに使いたいというために登録をしている人が多いと思います。アンケートをとってみてもそういう結果が出ております。それは、当然あるべき、しょっちゅう来ないから登録させないというのは趣旨が違くと、

親からしますと何かあったら使うというのが児童館と違った放課後子ども教室であるので、考えてあげなければいけないと思います。抽選をするということは趣旨からしますと大きく違っているので、受け入れなくてはいけないと思いますが、安全上の問題があるのでそこで親御さんが納得をしていただけたらと思いますが、多く広く受け入れてあげるのがこの趣旨だと思うし、利用したいときに利用をするということが趣旨であると思うので、生かさなければいけないと思うし、あとは運用上の問題、安全の問題がありますが、工夫をすれば、うちでも100名来ますので、当然工夫は必要なんですけど、安全を第一に考えなくてはいけないので、ただ、これは年に数回のことですので、これは当然親御さんの希望を受け入れてあげるのが我々の立場かなとは思いますが。私自身は抽選をするということは、西枇さんの問題かもしれませんが、何とか工夫をすればできるのではないかと思います。

柳町委員

私ども、在籍の半数ぐらいが登録、登録の4分の1ぐらいが平均です。それが一つのラインかな。現実的なラインかなと思います。西枇さんでも参加率を見ていると多くて25・26人、少なくても12・13人ということですので、抽選は回避しようとしても、運用の仕方を考えればなんとかご意向に沿える方向でできるのではないかなと思っております。

荻本委員

ただ、教室がありませんので、そこに全員を入れなくては行けませんので、懇談会時など体育館など使えませんので。

鈴木委員

図書室などは使えないのですか。

柳町委員

何人ぐらいが抽選に漏れたんですか。

荻本委員

20人ぐらいかと思います。

鈴木委員

全員受けてあげたいんですが、安全を一番最初に考えなければいけないので、例えば、平均これぐらいだからいいという考えもありますが、実際にたくさん来られるとどうするのか。そうしますとそれをすぐうまく解決できるか。学校の施設を開放すればいい、しかし、学校は学校で授業をしておりますし、そんなことはできない。学校は学校を中心に考えなければ行けませんので、そんなわけには行かない。そうなります

とどれぐらい応募があるか分かりませんが、来年度どうなるか。全体的に評判が良くなりつつありますので、申し込みが増えつつあることは事実。どこの放課後も、春日も117人、来年はもっと増えるかも分かりません。そうなる何人までいいかと言われても、ぎりぎり安全な人数までとしか言えません。例えば、130人来て日ごろ来ないからと言って、実際に懇談会の際にわっと来られたらそれこそ大変なことになって、どうするのかということになりましたら余計に問題になる。施設に余裕があり、人間的にも係が何人でもやれるというような状態であれば解決できますが、そこまでいっていないのが事実。

中田委員

係りのことも工夫をすれば、3人体制をこのときだけ4人体制にすれば、何とかできるし、4年ぐらい経っているとPTA総会・保護者会・就学時健診だけが一番多いので、このときは工夫をして時間割を作り、体育館のところで説明もあるので、騒がしくしておると迷惑をかけるので、そういう時は時間割を作ってビデオを見せ静かにさせたりということも4年目にして分かったこと。アンケートを作ったときに、やはりPTA総会だけ出席する子が一人だけいました。その人は、それがあるので登録をするのだなと思いました。あとは、月に2・3回参加するつもりという人も3人みえました。

内田教育長

それは、アンケートの結果で分かったことで、初めからそうやって申し込みをされる方はいませんので、拒否をすることはできない。今は117名だが来年は130名か140名ぐらい来るかもしれない。そのときにも今言われたようにできるのかといたら、やれるつもりではあるが実際には分からない。子どもがわっと狭いところに集まれば絶対トラブルや怪我が起きる。それこそ大変になり、先生方がパニックを起こす。そうすると次のときはやれないようになる。そういうことまで考えないところというのは難しい。特に学校であれば、まずクラスですから、担任の先生がみえる。しかし、子ども教室は3年生から1年生まで、ありとあらゆるクラスの子が集まる。先生の言うことはあまり聞かないであろう。一人がわっとやりかけたら大変になる。今は、それを力で押さえつけることはできません。ましてや担任でもできないのを子ども教室の指導員がやることはできない。まだ、ここにみえるコーディネーターはいいです。その下におられる方たちがそういうことができるかと言えばやれない。だから、パニックが起きます。そうなったら逆に言うと行政の責任になる。そんなことやってるからダメというふうになります。もと

もとそんなことをやる場所ではないだろうという反対の意見になってします。何のために放課後子ども教室をやったのであろうかという、そういう問題になってきてはいけないので、そこらへんが難しい。それぞれのご希望はなんとか皆さん受けていきたいのですが、いろいろな事情があって100パーセントご希望に添えないこともあるということです。なるべくいい知恵を出し合ってなるべくいい方向にもって行くわけですが、なかなかそこらへんは今後研究をしていくということしかお答えができません。

学校教育課長

とにもかくにも放課後子ども教室に来ている子どもたちの安全を第一義として、この事業を進めていきたいというところがございますので、今、教育長が申し上げましたが、各コーディネーターの先生とも皆様方の意見は十分に私どもも聞かせていただいたので、それを踏まえてコーディネーターの先生と相談をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。他によろしいでしょうか。

中田委員

そうしますと毎年、こういう運営委員会を開いてから次年度の募集の仕方・運営の仕方を考えていくわけですか。

学校教育課長

来年度のことをということですが、もう少し早く情報の提供を児童館と子ども教室の兼ね合いがありますので、それについては開催の時期ですとかそういったところを考慮していきたい。開催する時期を検討していきたいと思っております。

柳町委員

その件ですが、来年度をにらんでということではこれこれですごく大事なことであろうと思います。中間のところでもう1回こういった会議がありますと現状や後半こうしてみようなど、この時期と7月ぐらいにありますといいのではと思います。

学校教育課長

それにつきましては、予算等の兼ね合いもありますので、また、やれば複数回ということも検討させていただきます。

鈴木委員

要望ですが、難しいとは思いますが、予算のことで、物づくりなどをするとお金がかかります。結局、市の伝票を使ってやろうと思うとなかなかうまくいかない、無駄が多すぎる。私とスタッフがインマイポケットでやっている。その額がバカにならない額で、申し訳ないなと思いな

がらやっております。それをなんとかクリアできる、例えば委託料でいくらかいただくと負担をかけないと思いますので、ご検討をいただきたい。

学校教育課長

他にはよろしいでしょうか。長時間にわたり貴重なご意見等ありがとうございました。これで、清須市放課後子ども教室運営委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

以上